

Smile Action

Tokachi

その笑顔が、十勝を動かしていく。

Smile Action From Town #トカチのチカラ

十勝には、自然・食・人々など、たくさんの“チカラ”があります。十勝毎日新聞社では、管内19市町村の活動と情熱にフィーチャーし、未来を担う人たちが取り組み、これからも残していきたい資源など、まちの魅力を徹底報道します。

浦幌町のチカラ



Photo: uralaa park urahoro



URAHORO

DATA

●人口 2021年7月末時点

4,462人

●町の木 ナナカマド

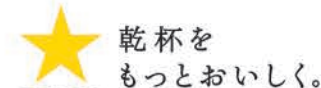
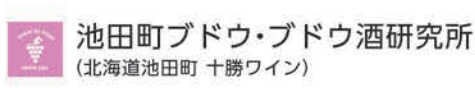
●町の花 ハマナス

●町の鳥 アオサギ

●町名の由来

アイヌ語の「オーラボロ」から起こり、オーは川尻、ラは草の葉、ボロは大きいという意味で、川尻に大きな葉が生えるところから。

「Smile Action Tokachi」に、ご協賛いただいたみなさま



「ハハハ」笑顔弾む集いの場

浦幌町は今年で開町100周年を迎え、「開町第4期まちづくり計画」を進めています。激しい社会変化の中で本町の持つ自然環境と豊富な産業、町民性を強みとしながら町が一体となって未来に挑戦していくべき時であり、「子どもを産み育みたいと思える」「仕事を上げたい、創りたい」と思えるまち、「住み続けたい、関わりたいと思えるまち」を重点プロジェクトとしました。

子育て支援を充実
保育料や給食費、そして高校生までの医療費の無償化や出産祝い金は1子10万円から1子100万円とし、今

浦幌町長 水沢 一広

年を決定して園も開園しました。先進的な「小・中一貫コミュニティ・スクール」や子どもたちのタブレット学習などを進めながら子育て環境一番を目指しています。学校の跡地をリユースした常盤寺は本都庁の若手企業人たちがワークキャンプを行う起点となり、町内の若木たち千膳の木材を

生かす「B&A ON P」や自然を面したクリタクリタできる森林浴施設を開業し目指す「フォレストレジ

地域おこし協力隊員も新たな息吹

1月23日にわたった「うらほろろき花火2021」。町内の若者たちの考えたプログラムを含む4部構成で、大小6000発の花火が真冬の夜空を彩った。

ハバステルの開業、地域観光を生かしたカフェの開設など新たな息吹をきかんでいます。わくわくしながら、新しい地方創生モデルで持続可能な地域をつくることを目指す「ムスター・創生キャンプ TUS」もスタートし、全国から多彩な経歴を持った人が集結しています。

移住促進に期待

町内全域にカヌーアバが散置されていますが、さらに町内の Water 環境を整備し、若者たちの感性が刺激されるような、移住生活にもなつていくことを期待しています。

町の未来づくりが確かなものとなるよう、高齢者福祉の充実や環境振興、教育の課題に横断的に取り組む、町民意識を高めると協働の町づくりを進めています。

きの教よ　一ツ町下れ　財下ろ域新吹が

農業や旅行者、地元中学生も



1階の交流スペース。本棚には雑誌や絵本など60冊以上の本があり、くつろげる空間を演出している

元協力隊・小松輝さん開業

経営者は、町内会総会旅
行業を始める「リベリ
エ」代表の小松隆（ひ
ろ）さん（27）。川崎市出
身。2017年に町に
地域おこし協隊に着任
し、任期満了の19年にリ
ベリエを創業した。

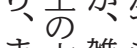
小松さんは「若手世代を
呼び込め」と考え、築35
年の空き家を購入し、1月
からリノベーションに着
手。その話題聞かされた町
外の人や町民もなにも成
没の駆け付け、外観の塗装
や家具のリノベーションを
手

伝った。美には時
材が使われ、「建物
師の心（ワタミ）が
字に見え、ハハハ」
と笑った。また、
木造の障子で、砥
面積は約300平方
隣の和室と2階の
（一部はトップレ
の計8部屋用感し

長期滞在
に活用
夜間にはカ
フェ

まりだと料金は46000円。
 1階のリビングでは、ニ
 ーブルを囲んで会話や仕
 ができる共有スペースの
 か、雑誌や絵本など60冊
 上の本を置いた本棚があ
 り、まさにトープで暖を取
 りながら読書を楽しむ。


 農業体験の



カウンターでは、金・土曜の夜間閉店でフエ・バレーの閉店、和風バザールやハ・マナフ・ドといった飲食物を提供している。

また、地元高野の中高生に対する「浦留」に所属する中学生などの力エとて利用開放するなど、新たな集いの場も創出している。

新型コロナウイルス禍で宿泊業は苦手を強いられつつある。スタッフとして働く・藤安理恵さん（23）



2階のツインルーム。農作業の手伝いや農業体験の長期滞在者が増えている

新型コロナウイルス禍で宿泊業者は苦戦を強いられていたが、スタッフとして働く工藤愛理沙さん（23）によると、宿泊客の年齢層は20、50代が多く、遠方から北海道をツーリングで訪れているライダーや、農作業の手伝いで、3週間以上長期滞在する人も。小松さんは「これまでになく新しい人々の出入りが見られる。地域の住人が生まれるだけではない、ここに宿泊して浦幌を動きたい」と思っており、人も増えれば」と期待す



町民有志の協力もあって誕生したゲストハウスを背に、笑顔を見せる小松さん

ハマナス化粧品で雇用創出を



浦幌中学校に隣接する農園では、色鮮やかなハマナスが咲き誇る

で蒸留し、後、国産ローカ
ニック化粧品を開発する
「アルデパン」本社大
阪に製造委託してゐる。
ランドセル、化粧水や乳液
a（rosa russos）のプ
美浴液、ハンドクリーム、
洗顔をすべんの5種類の商
品化。年齢60~70の最熟店を商
舗で取り扱っている。手に
取った利便からいへば、ロ
スの香りが使ひやすいとい
う「自分の肌に合わせて」
といった声が寄せられてゐ

ハーマナスを使って開発した化粧水やハンド
クリームなどをPRする森田

そば店「かし和家」近江幹太さん
営業継続へ修業の日々



老舗引き継ぐ若者奮闘

若年層の進学に就職にせよと、町外流出が深刻な中で、浦調を張上げようと奮闘する人の姿がある。ちなみに浦調小松、浦田中学校、浦田で飲食と三ツルヤ、ドてチャレンジを続けている。



「レストランURATIE」を経営する佐藤さん。大のワンピース好きで、店内にはフィギュアなどコレクションがずらり

「ワンピース」至る所に

その一人が近江幹太さん（20）。1927（昭和2）年に創業した「近江とくし和家」（本町3）の後継者に名乗り出た。店主の山岸嘉一さん（69）が3月27日に一度は店を開けるも、近江さんの熱い思いに突き動かされ、6月25日から営業を再開している。

レストラン「URATEE」の
「ティエニ」北町16の店主
佐藤純毅さん28。「うら亭」
の愛称で長く親しまれた旧レ
ストランを引き継いだ。
ほぼ一人で調理の全般を担
うから年が過ぎた。佐藤さ
んは「コロッケで難しいが、野
球場で「アガア」を聞くと、
ドバイトを企画した。若
い人が集まる場所になれば
と思い掛へ。

右は駐ん

レストランURATIE
佐藤紀毅さん

動「うろはうたうべ」に
浦潮に移り住んだ元地域お
感銘を受けた。2016年に
協力隊の森健太さん出
(27)三重県亀山市出身
。町の花のマナスを使っ
た化粧品を開発を手掛
ける会社 Cioaka(シ
オカ)を任期中中の17
ab「常夏ラボ」の一室

使える「ミスト」系の新商品を発売する予定だ。森さんは「目標は雇用を生み出すこととで、チオカイで働きたいと思う若者が増えれば、コロナ禍で働き方が変わったように、遠くにいながらでも浦幌と関われる仕組みをつくりたい」と思い描く。



どこでもお祭り北海道

どこフェスで みのり祭りを満喫しよう！

新型コロナウイルスによる影響で今年も中止となった「うらほろふるとのみのり祭り」ですが、

どこフェス限定商品として町の特産品を
通常価格の**20%OFF**で発売中。

この機会に浦幌の味覚をご堪能ください。

送料 無料

<どこフェス 限定 商品>

 「うらほろ和牛」焼肉4種セット (肩ロース・ウデ・モモ・バラ) 1,200g 6,400円	 マルイファーム産 黒毛和牛お試しセット 1,100g 9,200円	 JAうらほろ 男爵・レッドムーン 詰め合わせセット 各5kg 1,200円	 JAうらほろ 白花豆カレーセット 200g×4 2,400円	 「浦幌の大地」ジンギスカンと うどんナーセット 1,100g 2,600円	 十勝うらほろおかだ農園 「豆」セット 450g×8袋 4,100円
--	--	--	---	--	--

問い合わせ

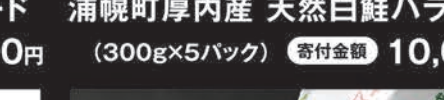
浦幌町観光協会 tel.015-576-2181 (浦幌町役場産業課)

どこフェスHP

https://hokkaido.dokofes.jp/event/21_urahoro.html



どこフェスとは？
外出自粛やイベント中止の中でもお祭り気分を味わいたい！そんな声に応えるのが「どこでもお祭り北海道（通称：どこフェス）」です。

				
		とちか天然木 カッティングボード （寄付金額） 14,000円	浦幌町厚内産 天然白鮭ハラス （300g×5パック） （寄付金額） 10,000円	
				
「浦幌の大地」 食べ尽くしセット （寄付金額） 14,000円		浦幌町厚内産 手造り鮭の飯寿司 （500g） （寄付金額） 10,000円	森永北海道3.6牛乳 常温長期保存 （1000ml×12本入り） （寄付金額） 12,000円	「浦幌の大地」 ジンギスカン （ラム400g+400g） （寄付金額） 7,000円



浦幌町市街地から車で約20分の豊かな森に囲まれた天然温泉。泉質は道内トップクラスのアルカリ性の高pH10.0で、古い角質を落としツルツルの肌触りになる美肌の湯と評判を呼んでいる。敷地内にはコテージもあり、キッチンやベレットストーブを備え、グループや家族でも楽しめる。浦幌町字留真177。午前11時から午後9時。第3月曜定休。

みてコレ!

「美肌の湯」で身体も心も癒やされる
うらほろ留真温泉



国道38号沿いに面し、地元産の新鮮な野菜や特産品の販売、観光情報の提供などを行っている。人気商品は浦幌産の牛乳を使用したカスタードとホイップクリームをゼリー状に詰めた「濃厚シュークリーム」(210円)。同じく浦幌産の小豆を使用した「うらほろ大福」(160円)もお薦め。浦幌町字北町163。午前9時から午後5時。

みてコレ!

地元食材を使ったスイーツがイチオシ
道の駅うらほろ



オートキャンプ、バンガロー、フリーサイトの3種類が楽しめる自然豊かなキャンプ場。トイレ、炊事場などの設備はもちろん、周辺にはアスレチック遊具や展望台もあり、子どもから大人まで楽しむことができる。9月中旬にはWiFi環境も整備され、より一層快適なキャンプライフが満喫できる。浦幌町字東山町22。10月末まで営業。

みてコレ!

充実の設備で安心・快適に楽しめる
うらほろ森林公園キャンプ場

とっておきの魅力教えます!!



楽舎スタッフの浅野佳奈さん(左から2人目)、伊場遥さん(左から4人目)と協力隊

浦幌町地域おこし協力隊

続麻知子(つづき・まちこ、写真左)

1998年生まれ。札幌市出身。筑波大学を卒業後、今年の4月から地域おこし協力隊として活動。中高生・若者を支援する事業と上浦幌の地域貢献事業に取り組む。

佐々木すみれ

(ささき・すみれ、写真左から3人目)

1998年生まれ。札幌市出身。立命館アジア太平洋大学を卒業後、今年の4月に地域おこし協力隊に就任。広報誌の作成や、上浦幌の地域貢献事業などに従事している。

三宅草一郎

(みやけ・そういちろう、写真右から2人目)

1996年生まれ。岡山県出身。北海道大学卒。2020年4月から地域おこし協力隊。現在は地域事業者支援事業や上浦幌の地域貢献事業などを担当している。

越膳 慧太(えちぜん・けいた、写真右)

1997年生まれ。静岡県出身。北海道教育大学釧路校を卒業後、2020年4月から地域おこし協力隊。現在はワークキャンプ事業や、スポーツPBL事業などに従事している。

十勝うらほろ楽舎は、浦幌町を舞台に「持続可能な地域づくり」のための課題解決や事業創出に取り組む一般社団法人です。メイン事業の1つである「ワークキャンプ」では、都市の企業人と浦幌町民が互いに知恵を出し合い、新たな事業の創出に向け活動しています。

では「ヤングフェロー」としても活動しています。主な担当業務は広報で、地域の広報誌の作成などを行っています。また上浦幌という農業が盛んな地域に住んでいるので、農家さんのお手伝いに行くことも多いです。浦幌町や楽舎についてより多くの方に広め、ファンになっていただくには、どのように情報を発信していくべきか日々試行錯誤しています。

より良い未来のため、
地域と共に走り続ける。
「十勝うらほろ楽舎」



北海道とかち浦幌 特産品屋へようこそ!

UM
うらほろ!

私達、ユーエム浦幌は昭和63年設立。

浦幌町の特産品「ギョウジャンニンニク」を原材料として商品を加工製造する会社としてスタート。

天然ギョウジャンニンニク入り「ドリンク(無臭加工)」「ジンギスカン(タレ付き)」

「ホルモン」「ソーセージ」などを手掛けています

ギョウジャンニンニクは血液浄化やコレステロールを抑制するなど、

様々な機能を有していると言われ、健胃、抗菌作用もあり、

あなたの健康作りをお手伝いします。

元気が出ない!もっと元気になりたい!方にオススメです!



北海道産行商ニンニクを浦幌町で加工した乾燥ギョウジャンニンニクを使用
ジンギスカン各種 980円
生姜焼 830円
若どり味付け 830円
ホルモン各種 830円

株式会社ユーエム

北海道十勝郡浦幌町字万年353番地70
電話番号 015-576-3400 FAX 015-576-4645

浦幌の大地

検索

オンラインショップ

https://um-urahoro.stores.jp

